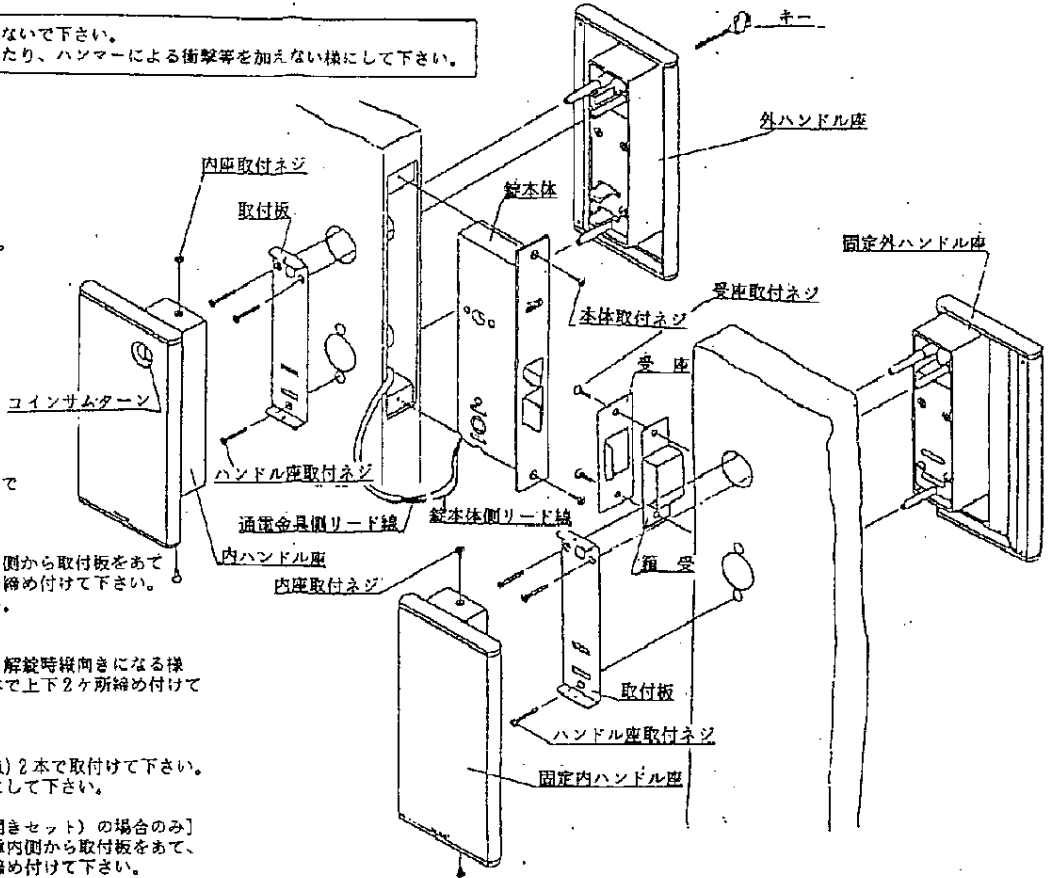


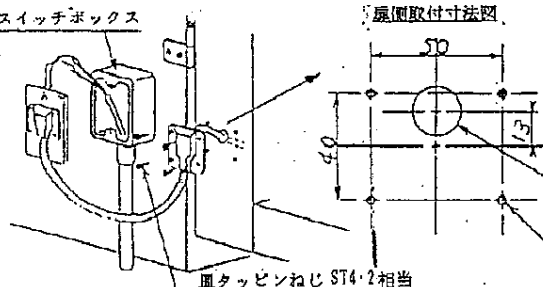
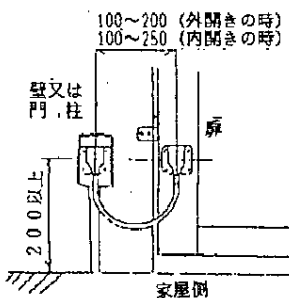
電気錠は分解しないで下さい。
投げたり、落したり、ハンマーによる衝撃等を加えない様にして下さい。

錠の取付け

- 1 扉切欠き
添付型紙を用いて切欠きをして下さい。
- 2 勝手変更
本セットは右勝手内開き用になっています。
原の勝手に、右勝手内開き以外の場合には
下記の勝手変更方法に従って、錠本体及び
ハンドル座の勝手に変更して下さい。
- 3 結線
錠本体側リード線と通電金具側リード線を
結線して下さい。
(注) 結線部は水が入らない様防水処理を
して下さい。
- 4 錠本体取付け
錠本体を本体取付ネジ (M4×12φ皿) 2本で
扉に取付けて下さい。
- 5 外ハンドル座取付け
扉外側から外ハンドル座を差し込み、扉内側から取付板をあて
ハンドル座取付ネジ (M4×25φ皿) 3本を締め付けて下さい。
(注) キーを抜いた状態で取付けて下さい。
- 6 内ハンドル座取付け
内ハンドル座のコインサムターンの溝が、解錠時縦向きになる様
差し込み、内座取付ネジ (M4×8φ皿) 2本で上下2ヶ所締め付けて
下さい。
- 7 受座取付け
受座、箱受けを受座取付ネジ (M4×12φ皿) 2本で取付けて下さい。
(注) 受座と錠本体のすき間は1.2mm以下にして下さい。
- 8 固定ハンドル座取付け [EK3741 (両開きセット) の場合のみ]
扉外側から固定外ハンドル座を差し込み扉内側から取付板をあて、
ハンドル座取付ネジ (M4×25φ皿) 3本を締め付けて下さい。
次に固定内ハンドル座を内座取付ネジ (M4×8φ皿) 2本で上下2ヶ所
締め付け、取付けて下さい。



通電金具の取付け



(注) スイッチボックス及び電気錠本体とのケーブル接続は
必ず、圧着スリーブ又はハンダ仕上で行なって下さい。
又、テーピングは自己融着テープ (アクリルテープ) を
使用して下さい。

φ16~φ20 導線穴
(コード切れ防止のため、切欠部はブラッシング等で保護してください)

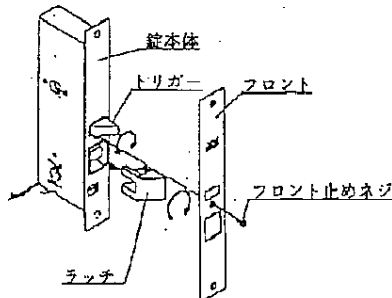
4-取付穴 (7/8±1.5の時φ3.5)
(扉の材質及び板厚に合わせて下穴を加工して下さい。)

勝手変更方法

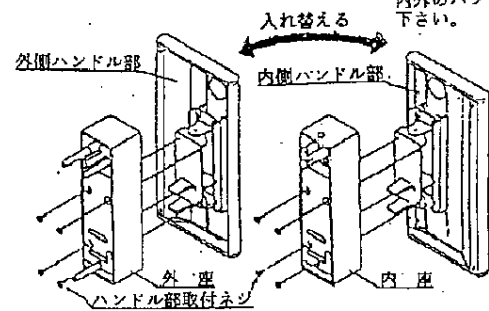
下の表に従って勝手に変更して下さい。

元の勝手 (取付部を上から見た様子)	勝手変更
右勝手内開き (内側) (外側) 錠本体	勝手変更不要、そのまま取付けて下さい。
右勝手外開き (内側) (外側) 錠本体	右側の①に空いて錠本体の勝手に変更して下さい。
左勝手内開き (内側) (外側) 錠本体	右側の②に空いて錠本体及びハンドル座の勝手に変更して下さい。
左勝手外開き (内側) (外側) 錠本体	右側の③に空いてハンドル座の勝手に変更して下さい。

- (A) 錠本体の勝手変更方法
- 1) フロント止めネジ (M4×8φ皿) をゆるめフロントをはずして下さい。
 - 2) ラッチを抜取り、向きを変えて差し込んで下さい。
 - 3) トリガーは回して向きを変えて下さい。
 - 4) 再びフロントを取付けて下さい。



- (B) ハンドル座の勝手変更方法
- 1) 外ハンドル座、内ハンドル座共ハンドル取付ネジ (M4×8φ皿) 4本をゆるめ、ハンドル部を取りはずして下さい。
 - 2) 外側のハンドル部を内座に、内側のハンドル部を外座に取付けて下さい。



(注) EK3731 (両開きセット) 場合、固定ハンドル座も同様内外のハンドル部を入れ替え下さい。

生産終了品

この商品は生産終了につき製造する工場の稼働終了のため、門真市大字門真1048